

社会的養育推進計画 こどもへのヒアリング調査

1. ヒアリング調査の目的

主にこどもの意見表明に関して、アンケート調査のみでは把握が難しい回答の理由や背景・実態等をより深く掘り下げるため、ヒアリング調査を実施する

2. 実施スケジュール

8月・9月のうち2日間で実施 1グループ30分程度を想定

3. 参加児童の要件

- ①児童養護施設、児童心理治療施設、自立援助ホーム、児童自立支援施設、母子生活支援施設、ファミリーホームの入所児童であること
- ②入所してから1年以上が経過していること
前回のヒアリングで、入所したばかりでわからないことが多いという意見があったため、ある程度施設等での生活に慣れている児童を対象とする
- ③高校生以上であること（FHは対象者が少ないため、高校生未満も含む）
アンケート調査は、できるだけ広く意見を聴取するために小学1年生以上を対象とし、設問も平易なものとしている
一方ヒアリング調査は、その回答を深く掘り下げ、児童自らの言葉で話してもらう必要があるため、ある程度話せる年長児童を対象とする。

4. 進め方、ヒアリング手法

(1) 児童養護施設・母子生活支援施設 1日目

- ・各施設1名以上の立候補を募り、1カ所に集ってもらいグループヒアリング
※前回計画策定時は特定の施設をピックアップしていたが、偏りが出ないようにするため全施設を対象とする
- ・性別は指定せず、立候補者の性別から7名以下くらいの単位でグループ分け
- ・児童養護施設・児童心理治療施設と母子生活支援施設でグループを分ける

(2) ファミリーホーム・自立援助ホーム・児童自立支援施設、児童心理治療施設 2日目

- ・各施設を個別訪問してグループヒアリングを実施
- ・ファミリーホームは、元児童養護施設職員以外が運営しているホームとし、施設養育の児童との差別化を図る
- ・自立援助ホームは、男子がかなり少ないため、女子のみで実施する
- ・児童自立支援施設は、男女それぞれ1寮ずつに参加してもらう